

船舶電気関係記事年表(昭和30～34年)

(雑誌「船舶」、「船の科学」より)

西暦(和暦)	電気関係 論文・解説記事など	著者	備考
1955-2「船舶」 VOL.28 NO.2 (昭和30年2月)	・船舶の配電系統における諸問題(1)	柴田福夫 (川崎重工業)	1. 船舶の配電系統の概略 2. 船舶に交流か直流かの問題
1955-2「船の科学」 VOL.8 NO.2 (昭和30年2月)	・本邦における航海用レーダーの普及発達について	倉本昌明 (運輸省船舶局)	
1955-3「船舶」 VOL.28 NO.3 (昭和30年3月)	・船舶の配電系統における諸問題(2)	柴田福夫 (川崎重工業)	3. 電動機回路における保護方式
1955-5「船舶」 VOL.28 NO.5 (昭和30年5月)	・船舶の配電系統における諸問題(3)	柴田福夫 (川崎重工業)	4. ヒューズかバイメタルか 5. SKヒューズの現状
1955-8「船舶」 VOL.28 NO.8 (昭和30年8月)	[航海計器特集] ・遠洋漁船における新鋭航海計器の近況  ・海洋観測の動向 ――主として海洋物理学の分野について ・TKS製新小型レーダ MR-30 について  ・Sperry Gyro Compass MK14 MOD 2  ・スペリー式超音波探傷機について  ・Vickers hydraulic pump and control について	波多野浩 (東京計器) 寺本俊彦 (東京大学) 青山嶺次 (東京計器) 納富次郎 (東京計器) 杉村次郎 (東京計器) 浅野正(東京計器)	9375MHz 30Kw 10" CRT
1955-10「船の科学」 VOL.8 NO.10 (昭和30年10月)	・SEA SCANAR (SEARCH SONAR)	茂木和男 (山武計器)	魚群探知機
1955-11「船舶」 VOL.28 NO.11 (昭和30年11月)	・最近におけるわが国電動ウインチの傾向	平本順三郎 (富士電機)	・直流ウインチ 交流ウインチ
1955-12「船の科学」 VOL.8 NO.12 (昭和30年12月)	・船体の電気防蝕について  ・(海外文献) 船舶の海水腐蝕を防ぐ電気防蝕法 (The Shipbuilder & Marine Engine Builder Vol.2)	瀬尾正雄 (運輸技術研究所)	
1956-2「船舶」 VOL.29 NO.2 (昭和31年2月)	[船用電気特集] ・新しい船舶用電線  ・電動ウインチについて  ・船用電動操舵装置  ・船舶電気設備の概要  ・クラブ浚渫船の電氣的制御について	加藤金一郎 (電線工業会) 前田道生(三菱造船 長崎造船所) 太田勝治郎 (富士電機) 辻 良夫 (運輸省船舶局) 三枝守英 唐沢康人 (石川島重工業)	
1956-3「船の科学」 VOL.9 NO.3 (昭和31年3月)	[直流電動ウインチ特集] ・富士新型直流ウインチ  ・新型三菱直流電動揚貨機  ・東洋電機の試作直流電動ウインチについて	平本順三郎 (富士電機) 江口 進 (三菱電機 長崎) 小穴正一郎 (東洋電機)	
1956-4「船舶」 VOL.29 NO.4 (昭和31年4月)	・偏針儀自差修正の残存自差について  ・船舶の配電系統における諸問題[続](2)	鈴木 裕  柴田福夫 (川崎重工)	磁気コンパスの自差の問題  電動機単相運転の問題
1956-5「船舶」 VOL.29 NO.5 (昭和31年5月)	・船舶の配電系統における諸問題[続](3)	柴田福夫 (川崎重工業)	遮断器の消弧装置および接点形式と遮断容量の関係
1956-6「船舶」 VOL.29 NO.6 (昭和31年6月)	・船舶の配電系統における諸問題[続](4)	柴田福夫 (川崎重工業)	・船舶ヒューズの新形式 ・遮断器およびヒューズの遮断試験方式その他二三に関する検討
1956-8「船舶」 VOL.29 NO.8 (昭和31年8月)	・魚群探知機について	西村一郎 (海上電機)	
1956-11「船の科学」 VOL.9 NO.11 (昭和31年11月)	・超小型レーダーBR-10型について	青木 崇 (東京計器)	

1956-12「船舶」 VOL.29 NO.12 (昭和31年12月)	・電球式大型探照灯について ・富士新型直流ウインチ ・東洋電機の直流電動ウインチ	勝倉喜一郎 (株)湘南工作所 平本順三郎 (富士電気) 小穴正一郎 (東洋電機)	
1957-1「船の科学」 VOL.10 NO.1 (昭和32年1月)	・NEC新型音響測深機マリングラフ ・電気式船用トルクメーター	宮島次郎 (日本電気) (株)東京衡機	周波数 23.5KC 尖頭出力 500W プロペラ軸のトルクを計測
1957-2「船の科学」 VOL.10 NO.2 (昭和32年2月) 創刊100号	・船用電気設備の発展について ・最近における航海計器の発展 ・商船の無線設備について	三枝守英 (石川島重工業) 茂在真男 (商船大学) 斉藤佐々雄 (日本郵船)	
1957-3「船の科学」 VOL.10 NO.3 (昭和32年3月)	・真相作動レーダーTM46型について	中村四郎 (海外貿易)	真相とは True Motion のこと
1957-4「船の科学」 VOL.10 NO.4 (昭和32年4月)	・船用軸馬力計の試作	船川正哉 (川崎重工業)	
1957-5「船舶」 VOL.30 NO.5 (昭和32年5月)	・小型船舶用レーダ AR-25について	福本昇三 (安立電波)	・出力 10Kw 7"CRT
1957-6「船舶」 VOL.30 NO.6 (昭和32年6月)	・船の配線工事について ・船舶用受信空中線共用器について(上)  ・船舶用気象模写装置の現況 ・船用作業燈の温度について	梶原 孝 (日本海事協会) 徳永 勇、岡 秀起 (三菱日本重工 横浜) 三枝守英、植松美郎 (石川島重工業) 藤崎 浩 (森尾電機)	居住区の娯楽用のラジオ受信機用
1957-7「船舶」 VOL.30 NO.7 (昭和32年7月)	・船舶用受信空中線共用器について(下)	徳永 勇、岡 秀起 (三菱日本重工 横浜)	
1957-8「船舶」 VOL.30 NO.8 (昭和32年8月)	・船用交流発電機の自動電圧調整器	三枝守英 (石川島重工業)	
1957-9「船の科学」 VOL.10 NO.9 (昭和32年9月)	・漁船における魚倉用温度計と電気水温計 ・漁船用オートパイロットについて ・最新型音響測深機 テレビグラフとスーパグラフ	村山電機  小林純郎 (北辰電機) (株)産研	製品紹介  製品紹介 ブラウン管表示式音測
1957-10「船の科学」 VOL.10 NO.10 (昭和32年10月)	・船舶の電気防蝕(1)	瀬尾正雄 (運輸技術研究所)	
1957-11「船舶」 VOL.30 NO.11 (昭和32年11月)	・KS-322型船舶用ロラン受信機	(株)光電製作所	
1957-11「船の科学」 VOL.10 NO.11 (昭和32年11月)	・ジャーマンロイドの電気設備規則の概要(その1) ・船舶の電気防蝕(2)	徳永 勇 (三菱日本重 工 横浜) 瀬尾正雄 (運輸技術研究所)	
1957-12「船舶」 VOL.30 NO.12 (昭和32年12月)	・船用レーダの現状と将来の動向	深谷英夫 (沖電気)	
1957-12「船の科学」 VOL.10 NO.12 (昭和32年12月)	・ジャーマンロイドの電気設備規則の概要(その2) ・船舶の電気防蝕(3)	徳永 勇 (三菱日本重 工 横浜) 瀬尾正雄 (運輸技術研究所)	
1958-1「船の科学」 VOL.11 NO.1 (昭和33年1月)	・艦装中の船舶の電気防食について  ・ジャーマンロイドの電気設備規則の概要(3) ・[造船講座] 船舶の電気防食(NO.4)	瀬尾正雄 (運輸技術研究所) 氏家正三、中村 勇 (日立造船) 徳永 勇 (三菱日本 重工 横浜) 瀬尾正雄 (運輸技術研究所)	

1958-2「船の科学」 VOL.11 NO.2 (昭和33年2月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バラスタタンク電気防食の現状(1)</li> <li>・電子機器応用の船舶の速力および機動性能試験</li> <li>・ジャーマンロイドの電気設備規則の概要(4)</li> <li>・[造船講座] 船舶の電気防食(NO.5)</li> </ul>	福谷英二 (中川防蝕工業) 中村四郎 (海外貿易) 徳永 勇 (三菱日本 重工 横浜) 瀬尾正雄 (運輸技術研究所)	速力試験にDECCA NAV.を利用
1958-3「船舶」 VOL.31 NO.3 (昭和33年3月)	[特集・最近の航海計器] 1. レーダとその発展 2. 遠距離用電波測位装置 3. 近距離航法とその発展 4. 航海計器 最近の傾向と将来について	庄司和民 (東京商船大学) 楠 順三 (東京商船大学) 鈴木 務 (電気通信大学) 茂在寅男 (東京商船大学)	
1958-3「船の科学」 VOL.11 NO.3 (昭和33年3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[造船講座] 船舶の電気防食(NO. 6)</li> <li>・バラスタタンクの電気防食の現状(2)</li> </ul>	瀬尾正雄 (運輸技術研究所) 福谷英二 (中川防蝕工業)	
1958-4「船の科学」 VOL.11 NO.4 (昭和33年4月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[造船講座] 船舶の電気防食(NO. 7)</li> </ul>	瀬尾正雄 (運輸技術研究所)	
1958-8「船舶」 VOL.31 NO.8 (昭和33年8月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新船舶照度基準の概要について</li> </ul>	高原 正 (日立造船)	公室、居室、作業場所の照度基準案について
1958-8「船の科学」 VOL.11 NO.8 (昭和33年8月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MKⅡ-DT トルトラッキングレーダ</li> </ul>	東京計器	製品紹介
1958-10「船舶」 VOL.31 NO.10 (昭和33年10月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船用電線について</li> <li>・船用発電機の並列運転について</li> <li>・自励交流発電機について</li> <li>・NK, LR ヒューズについて</li> <li>・等照度曲線を利用した機関室電灯配置</li> <li>・電動ウインチ荷役サイクルについて</li> </ul>	前田道生 (三菱造船 長崎) 柴田福夫 (川崎重工業) 清水照久, 中田隆康 (富士電機) 高原 正 (日立造船) 黒田次郎 (川崎重工業) 刈谷和夫 (川崎重工業)	
1958-10「船の科学」 VOL.11 NO.10 (昭和33年10月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回IEC 船用電気設備専門委員会における問題点</li> <li>・国際電気技術委員会 船舶部会に出席して ----船舶用電線について</li> <li>・TD-A101型 自動方向探知機</li> </ul>	梶原 孝 (日本海事協会) 前田道生 (三菱造船 長崎) 大洋無線	製品紹介
1958-11「船舶」 VOL.31 NO.11 (昭和33年11月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船用主機関における電気推進方式の役割についての一考察(1)</li> </ul>	柴田福夫 (川崎重工業)	
1958-12「船舶」 VOL.31 NO.12 (昭和33年12月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船用主機関における電気推進方式の役割についての一考察(2)</li> </ul>	柴田福夫 (川崎重工業)	
1959-1「船舶」 VOL.32 NO.1 (昭和34年1月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船用主機関における電気推進方式の役割についての一考察(3)</li> </ul>	柴田福夫 (川崎重工業)	
1959-3「船舶」 VOL.32 NO.3 (昭和34年3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船用主機関における電気推進方式の役割についての一考察(4)</li> </ul>	柴田福夫 (川崎重工業)	
1959-3「船の科学」 VOL.12 NO.3 (昭和34年3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神鋼電機・三相カゴ型極数変換式電動ウインチ</li> <li>東京機械・AE366型親子電動機式三相カゴ型ポールチェンジウインチ</li> </ul>	神鋼電機 東京機械	
1959-4「船舶」 VOL.32 NO.4 (昭和34年4月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船用円偏波レーダについて</li> </ul>	落合徳臣	
1959-7「船舶」 VOL.32 NO.7 (昭和34年7月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶とオートメーション(1)</li> <li>・船舶における蛍光灯照明</li> </ul>	自動制御研究室 (東京商船大学内) 高原 正 (日立造船)	
1959-8「船舶」 VOL.32 NO.8 (昭和34年8月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶とオートメーション(2)</li> </ul>	自動制御研究室 (東京商船大学内)	
1959-8「船の科学」 VOL.12 NO.8 (昭和34年8月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本郵船定期貨物船 佐賀丸の電気設備(1) 発電機と電動ウインチ</li> </ul>	前田道生 (三菱造船 長崎)	

1959-9「船舶」 VOL.32 NO.9 (昭和34年9月)	・船舶とオートメーション(3)	自動制御研究室 (東京商船大学内)	
1959-9「船の科学」 VOL.12 NO.9 (昭和34年9月)	・日本郵船定期貨物船 佐賀丸の電気設備(2) 照明装置と通信装置	前田道生 (三菱造船 長崎)	蛍光灯を採用
1959-10「船舶」 VOL.32 NO.10 (昭和34年10月)	・船舶とオートメーション(4) ・”SKコントローリング”連続速度制御”船舶交流電 気推進”	自動制御研究室 (東京商船大学内) 柴田福夫 (川崎重工業)	
1959-11「船舶」 VOL.32 NO.11 (昭和34年11月)	・船舶とオートメーション(5)	自動制御研究室 (東京商船大学内)	
1959-11「船の科学」 VOL.12 NO.11 (昭和34年11月)	・日本郵船定期貨物船 佐賀丸の電気設備(3) 航海計器と無線装置	前田道生 (三菱造船 長崎)	
1959-12「船舶」 VOL.32 NO.12 (昭和34年12月)	・船舶とオートメーション(6)	自動制御研究室 (東京商船大学内)	
<p><b>[メモ]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>船舶の配電系統について論じられている。</li> <li>最新の航海機器の特集記事が見られる。</li> <li>電気防食についての解説記事が見られる。</li> <li>船舶とオートメーションについての検討が始まった。</li> <li>レーダに TRUE MOTION 表示の記事が見られる。</li> </ol>			